

令和6年度 県立名護商工高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

1 教育目標	① すぐれた知性の育成（知育） ② ゆたかな心の育成（徳育） ③ たくましい体の育成（体育） ④ 協働で新たな価値を創造する力の育成（共創力育成）
2 学校経営目標	1 良き校風と支持的風土の伴う魅力ある学校づくりの推進 2 心身ともに健康で明るく安心・安全に過ごすことができる学校づくりの推進 3 着実な成果のもと生徒・保護者・地域の期待に応える信頼される学校づくりの推進 4 職員が専門性を高め安全で健康的に働くことの出来る学校づくりの推進

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和6年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
1 チーム学校体制の確立	(1)学校重点目標について学校全体で共通理解され、達成に向けた取り組みが着実に行われている	B	・年度当初に重点目標に関する共通理解を図る必要がある	B	
2 キャリア教育・進路指導の充実強化を図る	(2)進路相談・個別指導の充実や進路情報の収集・提供など進路指導が強化されている	A	・1, 2年生に対して早期の進路活動を促す取り組み	A	・早期の取り組みを合わせて外部との繋がりも進めて欲しい欲しい。 ・評議員も地域とのパイプ役として協力できることはやっていきたい。
	(3)キャリア教育の充実により望ましい職業観・勤労観の育成に努めている	A			
	(4)学校は生徒・保護者がいつでも進路相談に行ける雰囲気である	B			
3 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実	(5)部活動の活性化を図り、豊かな人間形成に努めている	B	・働き方改革と部活動指導のあり方を検討しなければならない	B	
4 特別支援教育体制の充実	(6)特別な支援が必要な生徒の学習を指導・援助する校内体制（校務分掌や内規など）が整備されている	B	・個別支援が必要な生徒の情報共有を図り、全職員の協力体制を継続していく ・保健室、教育相談室、サポートチームの連携を継続していく	B	
	(7)特別な支援が必要な生徒の発達を支えていくという視点を学校全体で共有し、指導や支援が組織的・継続的に行われている	B			
	(8)教師は生徒の特性や発達上の課題をよく理解し、支援員との連携や関係部署との情報共有など学習指導の工夫を行っている	B			

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和6年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
5 授業改善の推進	(9)補習や課外講座等による個に応じた指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C Tを活用した個に応じた指導については検討が必要 ・指導と評価の一体化とともに授業改善については、今後も研究が必要 ・タブレット端末利用促進に向けた取り組み 	B	
	(10)主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている	B			
	(11)各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	A			
	(12)学校は、1人1台端末の活用の充実に努めている	B			
6 学校安全及び教育環境整備の推進	(13)学校の環境は、安全で健康的なものとなっている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの整備に課題がある ・生徒送迎時の保護者への交通安全、運転マナーの徹底 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車学校等外部機関と連携した安全運転講習などの実施
	(14)校内の施設・設備は常に点検・整備が行われている	B			
	(15)授業中や休み時間に健康観察を行い、体調不良者については保健室等へ連絡または早退させる等の適切な対応を行っている	A			
7 生徒指導・教育相談の充実強化	(16)全体集会、講話、巡回、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立と心の教育の充実に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の啓発活動を継続して取り組む ・情報モラル（SNS等）に関する指導内容・方法について、強化する必要がある。 ・早期発見・早期対応を図り、全職員が一丸となって問題解決に取り組む ・いじめアンケートを定期的に実施し、未然防止に力を入れる。 ・生徒の規範意識を高める取り組み 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大変なことも多いと思うが、生徒のために頑張って下さい。
	(17)規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B			
	(18)生徒たちの安全意識の向上や交通安全指導が行き届いている	B			
	(19)学校は体罰のない学校づくりに取り組んでいる	A			
	(20)学校は生徒の暴力や暴言のない学校づくりに取り組んでいる	A			
	(21)担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実に努めている	A			
	(22)学校はいじめを防ぐために、行事や講話などの取組を行っている（いじめの未然防止）	A			

重点取組事項	評価項目	自己評価	令和6年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者から次年度に向けての要望等
7 生徒指導・教育相談の充実強化	(23) 学校は日頃から、いじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている（いじめの早期発見）	A	いじめ事案が生じた場合の迅速な対応と保護者との情報共有を密にしていく必要がある	A	
	(24) 学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている（いじめの早期対応）	A			
	(25) いじめの発見・通報を受けた職員は直ちに管理者に報告するなど、いじめの解消に向けて法令等に基づき組織的に対応している（いじめ関係法令の遵守）	A			
8 特別活動等の充実強化	(26) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	生徒会活動の活性化	B	・生徒が考えるコンテスト、行事があっても良いかもしれません。
	(27) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している q27	B			
9 学校広報活動の充実	(28) 中学校への広報活動を充実させている	A	引き続き広報活動に取り組んでいく	A	・学校の活動等どんどん情報発信をして下さい。
	(29) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	A			
10 地域から信頼される学校づくりの推進	(30) 学校は、PTA活動や地域活動に積極的に参加している	A	地域との連携を密にし、引き続き学校が活性化に向けてとりくんでいく	A	・地域との懇談会も企画できればと思います。
	(31) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	A			
11 働き方改革推進について	(32) 同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができている	A	・働き方改革に関する校内研修の充実と個々の業務改善に向けた取り組み	B	・限られた職員数で大量の業務にあたり大変だと思いますが、効率化できることを推進し、生産性を高める努力は必要と考えます。
	(33) 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている	B			
	(34) 一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている	B			
	(35) より専門性を發揮するための研修や教材研究等が充実している	B			
	(36) 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	B			